

東海支部 特別講演会開催のお知らせ

大型放射光施設で行う X 線トモグラフィーは、高空間分解能で連続観察（3D に時間軸を加えることから 4D と呼ぶ）ができることが大きな特徴である。現実の構造機能材料の複雑な組織変化、変形・破壊挙動の解明により、学術的、産業的成果が挙がりつつある。鉄鋼材料でも、理論分解能に迫る高分解能が得られることがここ 2 年程度で明らかになり、位相イメージングにより二相組織可視化の可能性も示されている。このことから、今後は鉄鋼での活用も期待される。本講演では、3D/4D イメージング技術を用いた非鉄・鉄系構造材料の力学特性評価例を紹介する。

日 時：2014年 3月10日(月) 15:30～17:00

場 所：名古屋大学E S総合館 1階 ES 会議室

名古屋市千種区不老町 (<http://www.nagoya-u.ac.jp/access-map/index.html>)

講演題目：

「3D/4D イメージベースアプローチ：構造材料の評価から新材料開発まで」

戸田裕之氏（九州大学 工学研究院 機械工学部門 / 3D/4D 構造材料研究センター）

参加費：無料

定 員：80名

参加申込方法：2月28日（金）までに、所属、氏名、TEL.、FAX.、E-mail、を明記の上、

下記申込み先へご連絡下さい。なお、定員になり次第締め切らせていただきます。

申込・問合せ先

〒464-8603 名古屋市千種区不老町

名古屋大学大学院工学研究科 マテリアル理工学専攻内

日本金属学会・日本鉄鋼協会 東海支部事務局

e-mail：tokai@numse.nagoya-u.ac.jp